

特版:オリンピック開会式を楽しもう

北京オリンピックがいよいよ明日開催されることになった。アジアでは東京(64年)、ソウル(88年)について3度目の開催となる。いま内外で注目を集めているのが、開会式のイベントである。筆者はエコノミストであって、スポーツ芸能方面にはほとんど疎いのだが、アジアの歴史的イベントと聞くと血が騒ぐ。明日は早く帰宅してビールでも飲みながら歴史を目撃することにしよう。

- 開会式は8時8分8秒か？

筆者は講演会で、未広がり「八」を好む中国人のこだわりを紹介し、「開会時間は午後8時8分08秒かもしれない」と発言しているが、これはあくまでジョークであり、開会時間は午後8時ちょうどである。午後5時45分から1時間半かけて開幕前のイベントが行われ、8時より入場行進を含め約3時間の開会式が行われる。開会式イベントの総指揮を執るのは、「紅のコーリヤン」、「テラコッタ・ウォリア」等で世界的に著名な映画監督の張藝謀(チャン・イーモー)。

- 入場行進の順番

オリンピック発祥の地であるギリシャを先頭に、漢字(簡体字)の国名の最初の文字(日本は「日」=4画)の筆画順で入場の序列が決められる。日本は23番目。主催国の中国は参加205国・地域のなかで最後に登場する。

さすがは漢字の国である。印度・英国・西班牙・伊大い・美国等が筆画順に整理され、入場行進の順番が決められるわけだ。

- 台湾の呼称

台湾はオリンピックにおいて従前より妥協の産物として(やむなく)「チャイニーズタイペイ」を使用しているが、この漢字名称を「中華台北」にするか「中国台北」するかで中台間で一悶着あった。最終的には、従前通り台湾の主張する「中華台北」で決着した。そもそも「205の国と地域」という表現そのものが政治の産物である。

- 中国チームの旗手は誰か？

中国選手団(選手639人、役員コーチを加え総勢1099人)のなかで、最高の名誉を担うのが旗手であろう。当然、参加選手のなかから選ばれる。NBAで活躍する身長229cmの姚明、110メートルハードルの世界記録保持者・劉翔が有力といわれるが、「女性が天の半分を支える(毛沢東)」中国において女性選手の可能性も排除できない。飛び込みで連覇を狙う美人アスリート郭晶晶の可能性も。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

- 最後の聖火ランナー

聖火台にトーチを運ぶ最後のランナーにも注目が集まっているが、これは現役選手とは限らない。むしろ往年の名選手やスポーツ振興に功績のあった人物の可能性の方が大きいだろう。

中国が初参加した 32 年(ロサンゼルス大会)における唯一の選手であった劉長春、60 年ローマで初めて銀メダルを獲得した「アジアの鉄人」楊伝広(台湾)が生きていれば当然有力候補になったはずである。モハメドアリや孫基禎の前例もある。

中国初の金メダリストは 84 年(ロサンゼルス大会)のフリーピストル許海峰だが、平和の祭典で射撃選手がオオトリを務めるのは如何なものだろう。

最多メダル獲得者は同大会体操の李寧(金 3 銀 2 銅 1 = 計 6)だが、彼はいま香港上場のアパレルメーカー「李寧(LINING)」のオーナーであり、彼が参加すれば会社の PR 活動になってしまう。本人は大喜びだろうが、これもまずい。

中国女子バレーボールの全盛期を築き 84 年(ロサンゼルス)覇者として世界最強のアタッカーといわれた郎平は何といま米国ナショナルチームの監督である。これもまずいだろう。

無難なところで、92 年(バルセロナ)、96 年(アトランタ)で卓球の女子シングル・ダブルスを連覇(金メダル 4)した鄧亞萍ではないかと個人的には思う。

そうでなければ、メダリストではないが国際オリンピック委員会のメンバーを長く務め「中国オリンピックの父」と呼ばれる 80 の何振梁老人ではないだろうか。このご老人をジャッキーチェンのような大スターがサポートしながら登場すれば更に盛り上がるのだが・・・

- 聖火台への点火方式

国家最高機密である。口の軽い人が多い中国だが、最後まで秘密は守られたようだ。いろいろな噂が飛び交っているが、トーチの炎を聖火台に移すのではなく、聖火が宙を飛ぶ方式が有力だとか。中国のシンボルの聖獣は「龍」である。最後は巨龍が炎の宝珠を撒き散らして点火するようなイメージではないだろうか。

大気汚染やテロの懸念等、いろいろと心配事も多い北京オリンピックであるが、この歴史的イベントの成否が中国の今後の成長を占う大きな鍵となる。まさに「登龍門」なのである。(了)

平成 20 年 8 月 7 日

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 121 号
日本証券業協会・投資信託協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2075% (税込み) (約定代金が 260,869 円以下の場合、3,150 円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大 0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.20% (税込み) (約定代金が 2,625 円に満たない場合は、2,625 円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。